

<平成22年度税制改正に関する要望>

提出日:平成 21 年 10 月 8 日

提出先:経済産業省経済産業政策局企業行動課

所定の書式に基づき提出

税目	租税特別措置法
要望者名	社団法人 情報サービス産業協会
要望名	情報基盤強化税制の大規模な拡充延長
要望内容	<p>我が国経済は、昨秋の金融危機による最悪の状況は回避したとみられるものの、依然として非常に厳しい情勢が続いています。現在の景気の低迷からの脱却を図るためには、回復の起爆剤となり得る大規模で即効性のある税制の措置が必要です。</p> <p>つきましては、来年3月末で適用期限が到来する情報基盤強化税制を大規模に拡充し、IT資産の信頼性、効率化、グリーン化の観点から制度の充実を図ることはもちろん、さらにIT投資に対し思い切った税額控除(又は特別償却)を内容とすることを要望いたします。</p> <p>特に重点分野として農林漁業及び医療介護サービスに係るIT投資に対しては、これらの産業の再生と成長を促すために、思い切った上乘せの措置を図ることをも要望いたします。</p>
要望目的 期待される効果	<p>要望目的:</p> <ul style="list-style-type: none">・IT資産の高度なセキュリティの充実、信頼性、効率化、グリーン化の向上・短期的な需要の回復・経済成長回帰への道筋づくり <p>期待される効果:</p> <ul style="list-style-type: none">・戦略的IT投資への誘引・景気の回復と内需中心の経済成長・経営の効率化を通じた競争力の強化

税目	法人税法
要望者名	社団法人 情報サービス産業協会
要望名	連結納税制度の見直し
要望内容	<p>平成14年度から導入された連結納税制度は、企業グループ各社の損益を合算して法人税を課すものであり、グループ経営の推進を税制面から支援する制度であります。</p> <p>情報サービス産業におきましては、データセンター事業やコンテンツ関連事業等の新規事業を開始した当初の業績は赤字になる傾向があるため、こうした事業投資リスクが高い分野に子会社を設立して参入を図る場合は、リスク分散の観点から、当該事業への出資を募って自社の出資比率を低く抑えることが一般的です。</p> <p>こうした実態をふまえ、連結納税制度について次の2点を要望いたします。</p> <p>(1)子会社欠損金の持ち込み制限の見直し</p> <p>(2)適用対象法人の拡大</p>
要望目的 期待される効果	<p>要望の目的:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業グループの経営資源の最適配分の支援 <p>期待される効果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組織再編の促進 ・企業グループ全体の競争力強化

税目	租税特別措置法
要望者名	社団法人 情報サービス産業協会
要望名	研究開発促進税制における上乘せ措置の延長
要望内容	<p>試験研究費の総額に係る税額控除制度においては、いわゆる増加試験研究費に係る措置と平均売上金額一割超過部分の試験研究費に係る措置の選択適用が認められています。これらの措置の延長を要望いたします。</p>
要望目的 期待される効果	<p>要望目的:</p> <p>研究開発促進税制の強化を図ることにより、厳しい経営環境における企業の研究開発投資に係るリスクテイクの低下を補うため。</p> <p>期待される効果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の研究開発力の維持及び競争力の向上

税目	法人税法・所得税法
要望者名	社団法人 情報サービス産業協会
要望名	確定拠出年金におけるマッチング拠出の導入
要望内容	<p>現行法では、企業型の場合、企業による拠出しか認められておらず、従業員は拠出できません。このため、本制度は、私的年金制度というよりも従来からの退職金制度に類似する印象をもたれがちです。また、自ら資産運用を行う意識が低い加入者が多い原因にもなっています。</p> <p>確定拠出年金は、高齢期における所得確保を自助努力で行う制度です。それにもかかわらず、加入者の多くがこうした認識をもっていることは、制度の趣旨に合っていない。</p> <p>また、本年度の改正により、企業の掛金の限度額が若干引き上げられました。従業員の高齢期の生活設計を行うに足るだけの運用原資とは到底いえない水準です。とはいえ、厳しい経営環境のなかで、企業がそれに足るだけの掛金をすべて負担することも難しいです。</p> <p>つきましては、企業型確定拠出年金において、企業が拠出する掛金に加えて、加入者の希望により自己資金も拠出する、いわゆるマッチング拠出を認めていただきたく、要望いたします。</p>
要望目的 期待される効果	<p>要望目的：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確定拠出年金制度の活性化 ・企業が拠出する掛金の補完 <p>期待される効果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確定拠出年金制度加入であるとの意識の向上 ・高齢期の生活設計を行うに足るだけの運用原資の確保